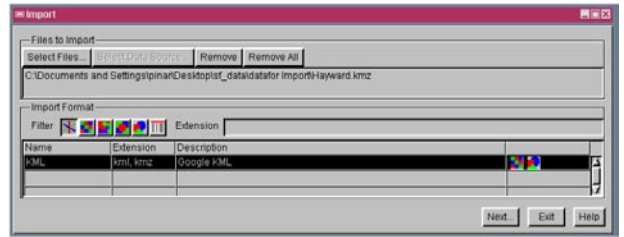


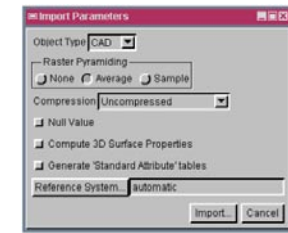
グーグル KML から地理空間オブジェクトを取り込む

グーグルのキーホールマークアップ言語 (KML) は、地理データをグーグルアースとやりとりするための言語です。グーグルアースや他の目的で用いるために、KML や KMZ ファイルのデータを作ったり変換するための様々な製品があります。KML ファイルは、単純な幾何データレイヤで、外部に共通フォーマットのラスタファイルを持つ場合があります。KML や KMZ ファイルは図形や表、ラスタ、付随する属性、スタイル、その他の情報などから構成される複雑でコンパクトなレイアウトです。

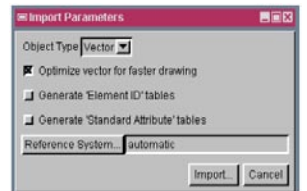
TNTmips を使って KML や KMZ ファイルを読み込むと、KML レイアウトフォルダとパーツがベクタや CAD、必要なサブオブジェクトを持つラスタオブジェクトなどに分かれます。ファイルはデフォルトでは地理座標系 (CRS) を持つ図形やラスタオブジェクトに取り込まれます。あるいは、TNT 製品でサポートされている他の地理参照系に取り込むこともできます。TNT にオブジェクトとして取り込んだ後、TNT 製品の地理空間解析機能を使ってその結果を見たり、修正したり、置き換え、あるいは新しいレイヤに作り直すことができます。TNT オブジェクトを KML/KMZ ファイルに変換する方法については以下のテクニカルガイドをご覧ください。



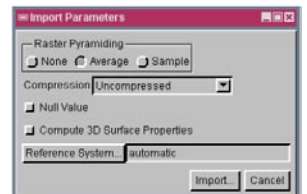
幾何オブジェクトを取り込むためにオブジェクトのタイプを指定します。



ラスタや幾何オブジェクトを含む KML/KMZ ファイルの場合



幾何オブジェクトのみを含む KML/KMZ ファイル場合



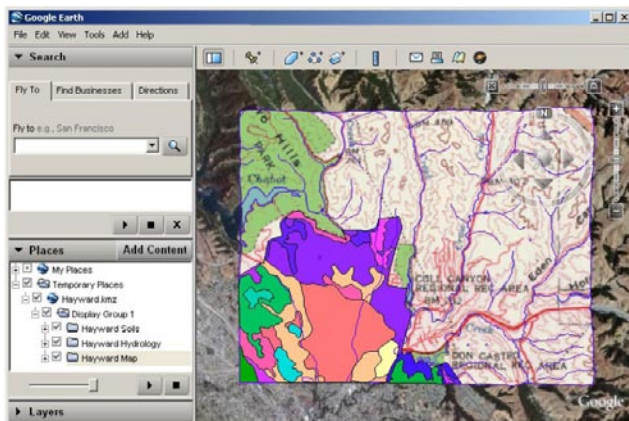
ラスタオブジェクトのみを含む KML/KMZ ファイル場合

- エクスポート: 幾何図形オブジェクトを KML にエクスポート (Export:Geometric Objects to KML)
- エクスポート: ラスタデータをグーグルアースにエクスポート (Export:Rasters for Google Earth)
- 空間表示: ラスタオブジェクトを KML にレンダリング (Spatial Display:Render Raster Objects to KML)
- 空間表示: ポイントシンボルを KML にレンダリング (Spatial Display:Render Point Symbols to KML)
- 空間表示: 地図レイアウトを KML にレンダリング (Spatial Display:Render Map Layouts to KML)

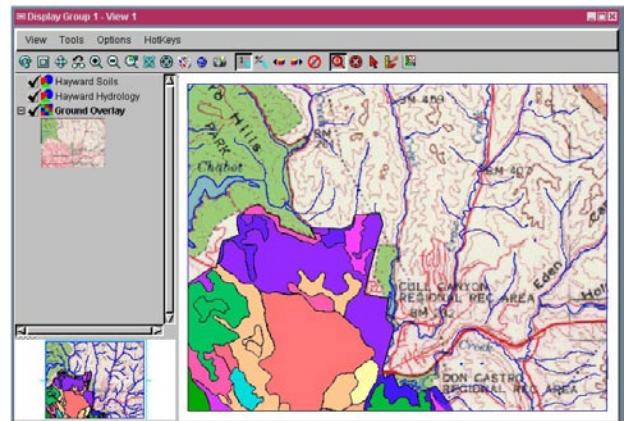
ポイントやライン、ポリゴンを含む KML や KMZ ファイルの各フォルダは、CAD やベクタに取り込まれます。インポートパラメータウィンドウを使って、各フォルダの内容がベクタあるいは CAD オブジェクトのどちらに変換するかを選べます。フォルダをベクタオブジェクトに変換したい場合、インポートによって高速描画や要素 ID、標準属性テーブルを持った最適化されたトポロジーを作ることができます。オブジェクトはポイントやライン、ポリゴン要素毎に別々の属性テーブルが作られます。CAD オブジェクトとしてインポートする場合は、すべての要素に対して 1 つの属性テーブルが出来ます。グーグルアースによって表示用のスタイルが定義されていれば、これらのスタイルも CAD オブジェクトに取り込まれます。取り込まれた CAD またはベクタオブジェクトの属性テーブルには、デフォルトで作られた 2 つの参照フィールドが出来ます。“Name” フィールドは KML ファイルの要素の名前です。“Description” フィールドには HTML フォーマットでのグーグルアースの情報テーブルの内容が含まれています。

インポートパラメータウィンドウを使って、KML/KMZ ファイルから取り込むラスタオブジェクトのオプションを設定することができます。これらの設定にはラスタの圧縮やピラミッドの方法、ヌル値などがあります。インポートの際、必要に応じてラスタから 3 次元的な地形特性を計算させることもできます (例えばラスタがジオリファレンスされた標高データ (DEM) の場合)。

Google Earth



TNTmips



上の図はラスタレイヤ (地形図) の上に 2 つの幾何図形レイヤ (土壌と河川) を表示しています。左の図は、同じレイヤを含む KML ファイルをグーグルアースで表示しています。グーグルアースの Places パネルで分かるように、各レイヤの内容が別々のフォルダに保存されています。右の図は同じレイヤを KMZ ファイルから TNTmips のプロジェクトファイルに取り込んだものです。河川と土壌のレイヤは CAD オブジェクトに取り込まれ、地形図のレイヤはラスタオブジェクトに取り込まれています。